WordPressの
バックアップとSSL化
【パーフェクトガイド】

はじめに

【推奨環境】

このレポート上に書かれている URL はクリックできます。できない場合は最新の AdobeReader をダウンロードしてください。（無料）

http://get.adobe.com/jp/reader/

【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。

下記の点にご注意戴きご利用下さい。

このレポートの著作権は作成者に属します。

著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。

このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

目次

はじめに..2

自己紹介..4

第１章：WordPress のバックアップ..5

（１）「BackWPup」のインストール..............................5
（２）「BackWPup」の使い方..6

第２章：WordPress の復元作業...15

（１）サーバー上のファイルデータを復元する..............................15
（２）データベースのデータを復元する......................................16
（３）復元した WordPress の動作確認.......................................20

第３章：X サーバーの WordPress を SSL 化する...........................21

（１）X サーバーの SSL 設定..23
（２）WordPress の SSL 設定..29
（３）https への転送設定(.htaccess 編集)....................................31

第４章：SSL 化できているか確認する方法....................................39

第５章：「Search Regex」の使い方...41

第６章：SSL 化に伴う、広告タグの貼り替え作業..........................45

（１）１つずつ手作業での広告貼り替え作業になる.............................46

第７章：Search Console で、サイトの削除と追加..........................47

第８章：Google Analytics の設定変更...48

終わりに..50

オウンドメディアについて..51

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

自己紹介

はじめまして、マクシミリアンです。

私は現在、オウンドメディア構築のプロとして、
アフィリエイトなどを人に教えています。

PPCやFacebook広告などの広告系は苦手分野ですが、
アフィリエイト歴は、10年以上になるベテラン選手です。

【専門分野】
・オウンドメディア
・アドセンス
・ブログアフィリエイト
・情報教材作成および販売
・コンサルタント
・一人起業マネタイズ

初期投資のいらないアフィリエイト手法が得意で、
どう転んでもマイナスにならないやり方を追求している。

もし、私のノウハウに興味があるなら、
ブログからでも、メルマガ登録をしてみて下さい。

⇒オウンドメディアで戦略的アフィリエイト

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

第１章：WordPress のバックアップ

まず、サイトの SSL 化をする前にバックアップを取る必要があります。

SSL 化に失敗して、全部のデータが消えた人もいるので、
万が一に備えて、面倒でもバックアップは行ないましょう。

一応、「X サーバー」でサーバーを契約してある前提で話を進めますので、
それ以外のサーバーの方は、手順が異なる事を了承下さい。

（１）「BackWPup」のインストール

バックアップを取る WordPress のダッシュボードに入って下さい。

「プラグイン」→「新規追加」をクリックし、
右上に「BackWPup」と入力して、「今すぐインストール」をクリック

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

「有効化」をクリック

（２）「BackWPup」の使い方

「BackWPup」の「新規ジョブを追加」をクリック

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

一般の「このジョブの名前」には好きな名前を付けて下さい。

ここでは「バックアップ」と名付けます。

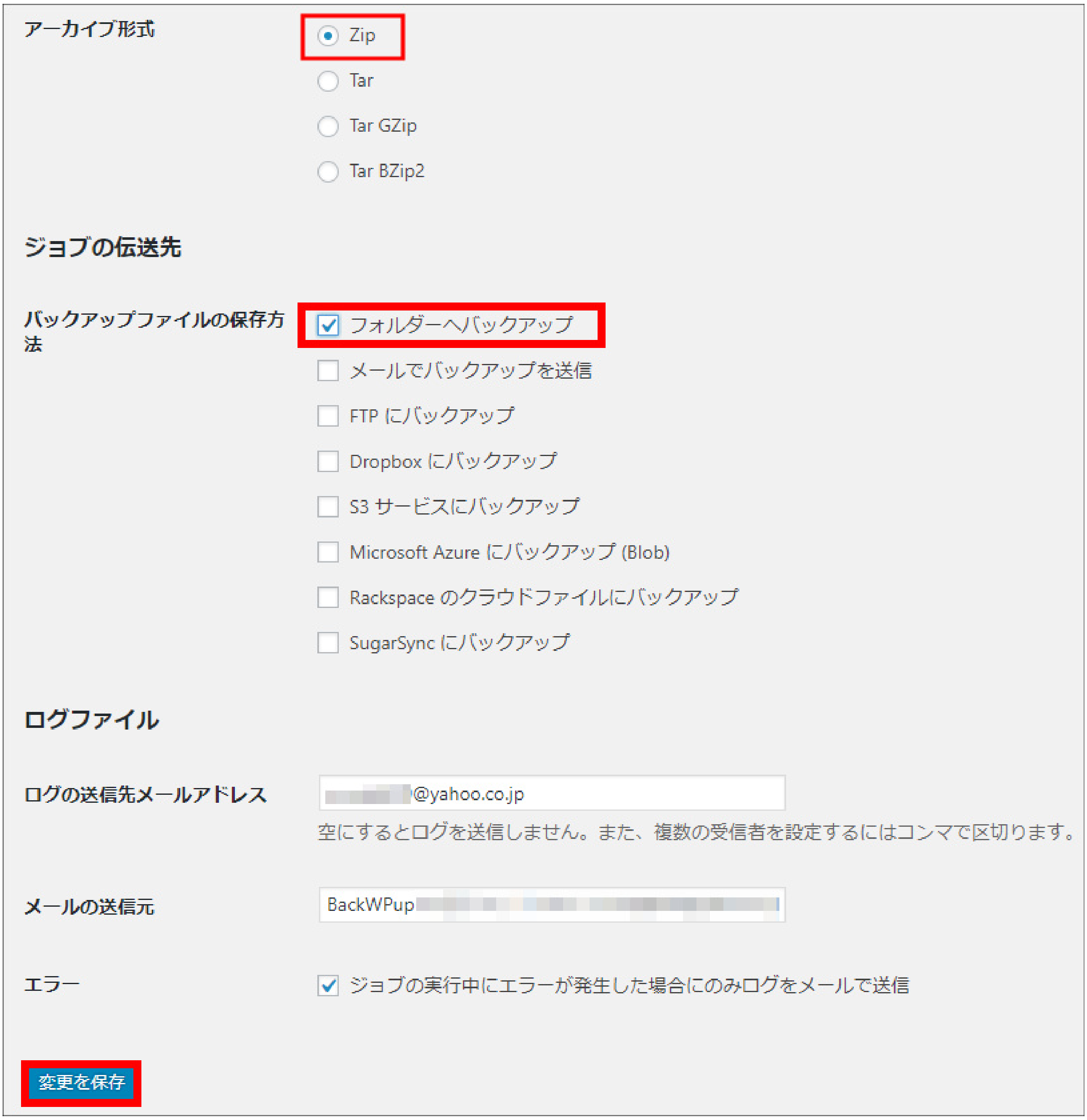
「ジョブタスク」と「アーカイブ名」はデフォルトのままで OK です。

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

「アーカイブ形式」は、デフォルトの「Zip」で OK です。

「バックアップファイルの保存方法」は、
「フォルダーへバックアップ」をチェックして下さい。

「変更を保存」をクリック



Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

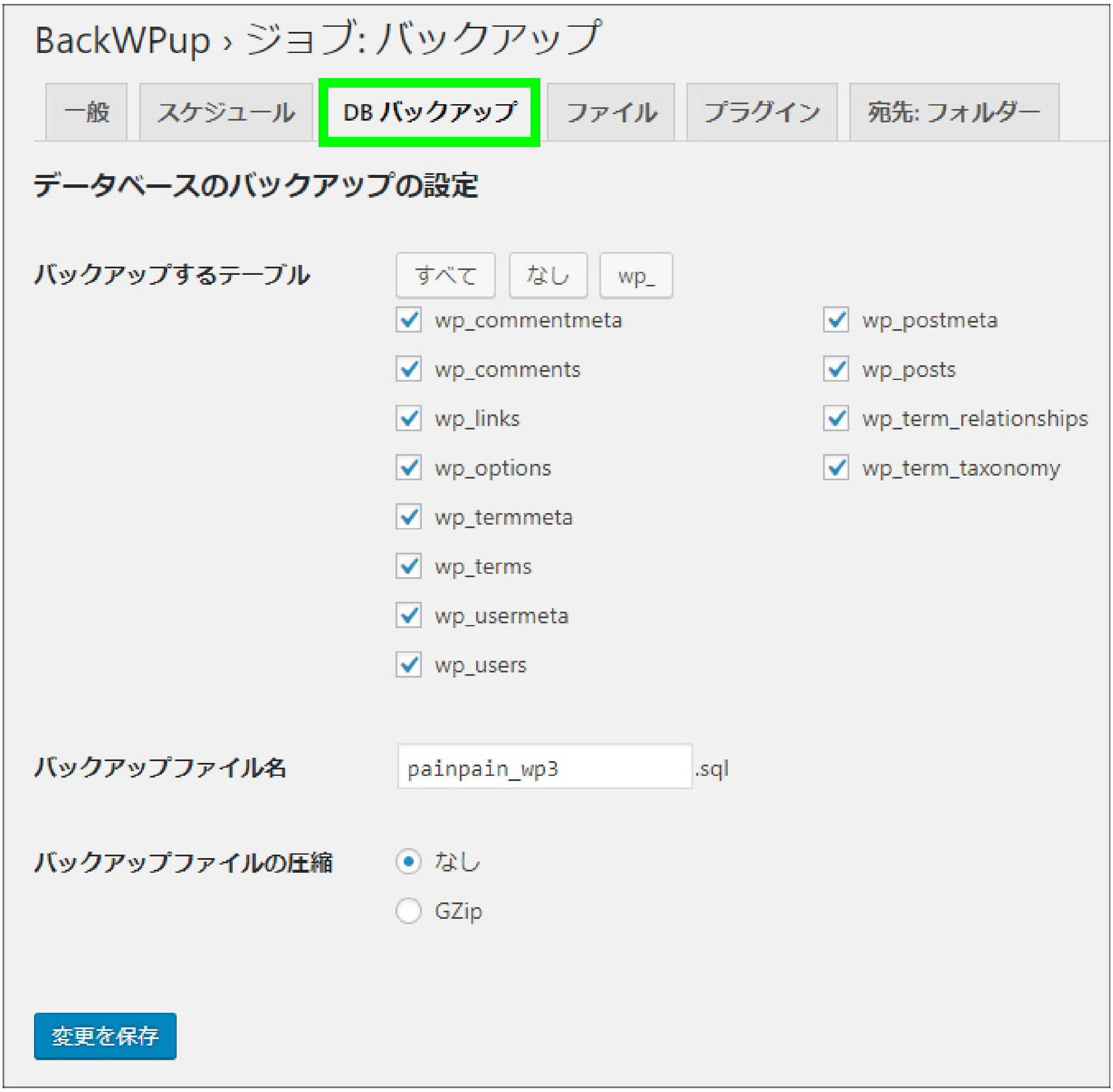
このバックアップを手動ではなく、自動で行なうには設定が必要です。

スケジュールから「WordPress の cron」をチェックする。

スケジューラーで「毎月」をチェックして、
「変更を保存」をクリック

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

DB バックアップは、何もイジらなくてデフォルトで OK です。



Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

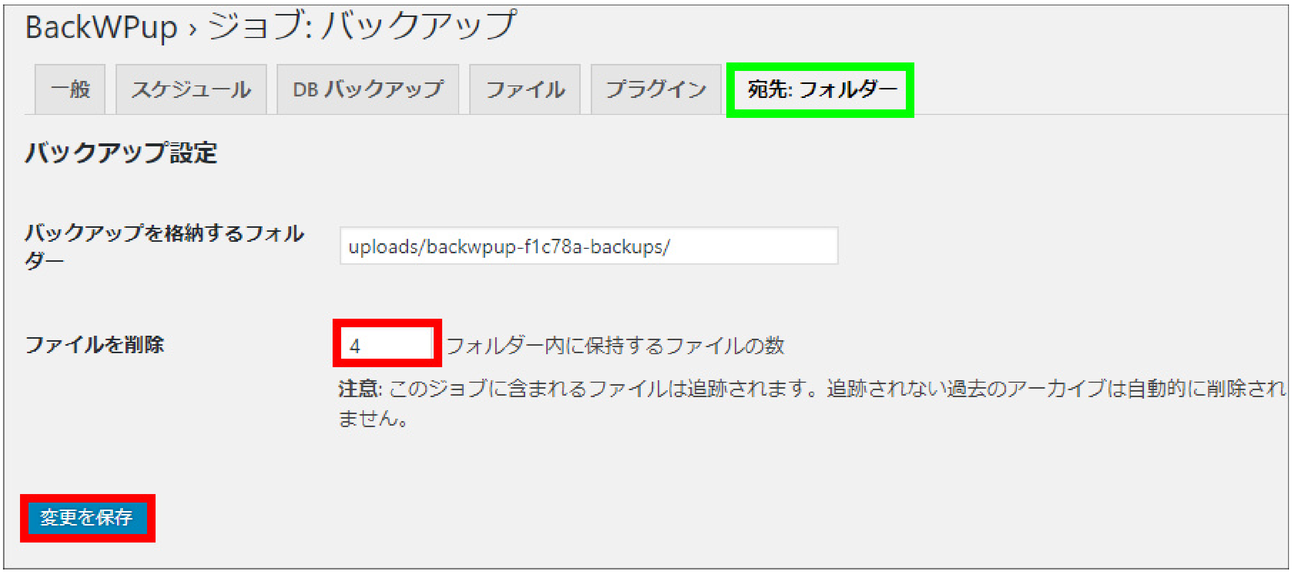
ファイルも、何もイジらなくてデフォルトで OK です。

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

プラグインも、何もイジらなくてデフォルトで OK です。

宛先:フォルダーでは、「ファイルを削除」を「4」(4 ヶ月分)にします。

「変更を保存」をクリック



Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

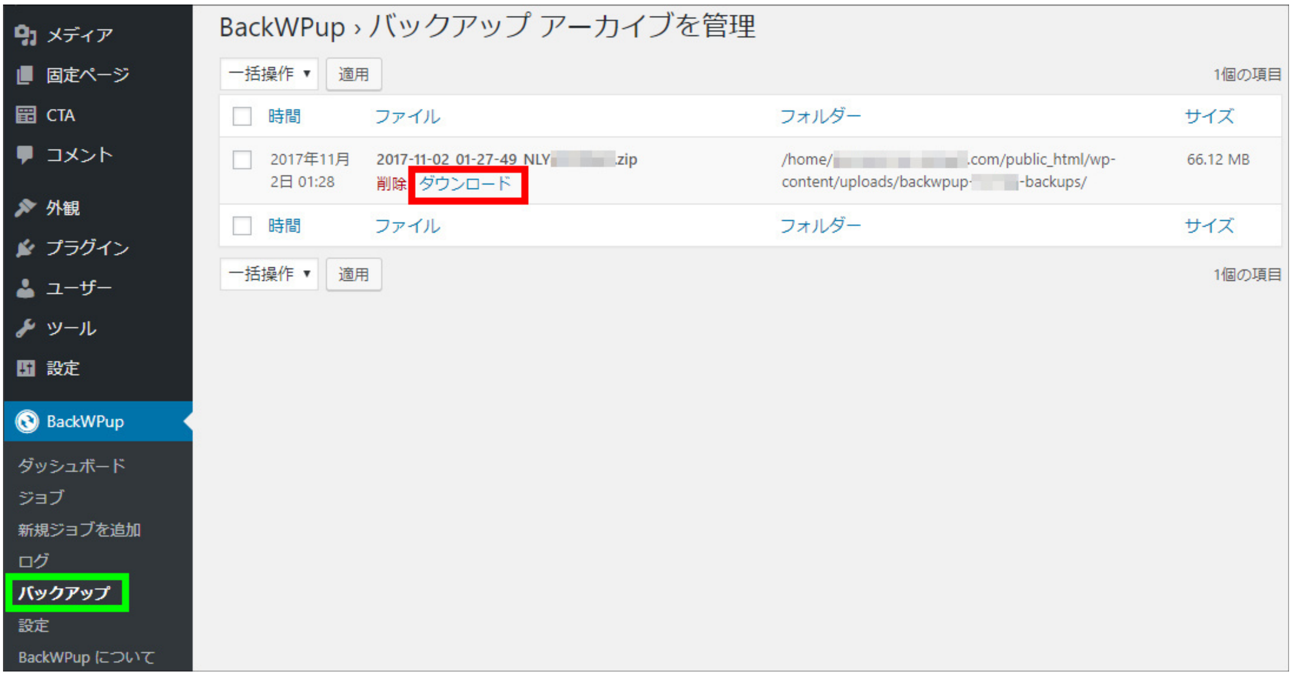
設定が終わったので、「BackWPup」→「ジョブ」とクリックし、

先ほど設定したジョブで「今すぐ実行」をクリック

バックアップが完了するので、「閉じる」をクリック

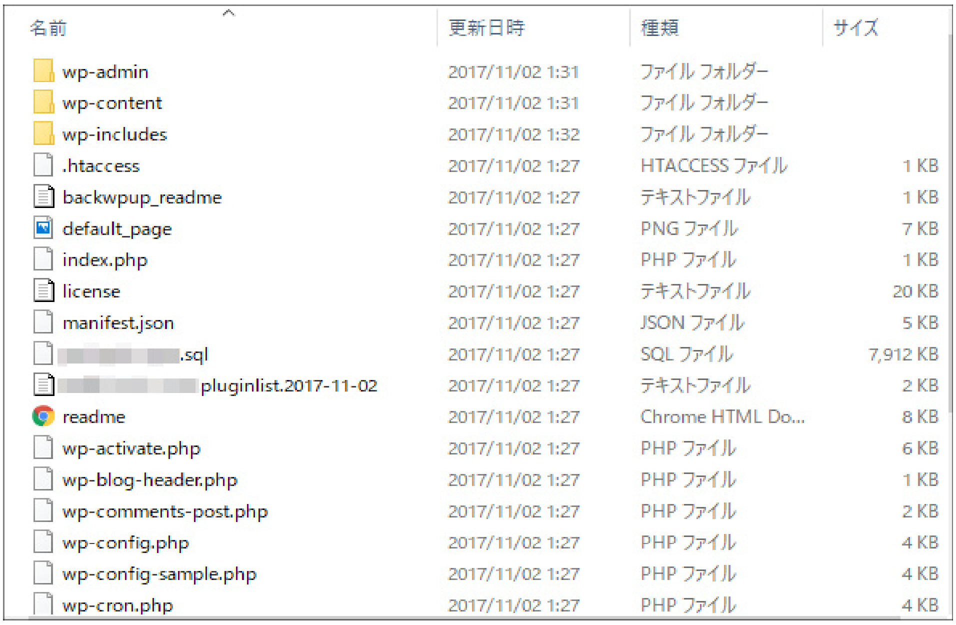
Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

「**BackWPup**」→「**バックアップ**」とクリックし、
先ほどバックアップを実行したジョブで「ダウンロード」をクリック



これで WordPress のバックアップを自分の PC にダウンロードできました。

解凍すると、次のようなファイル群になっています。



Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

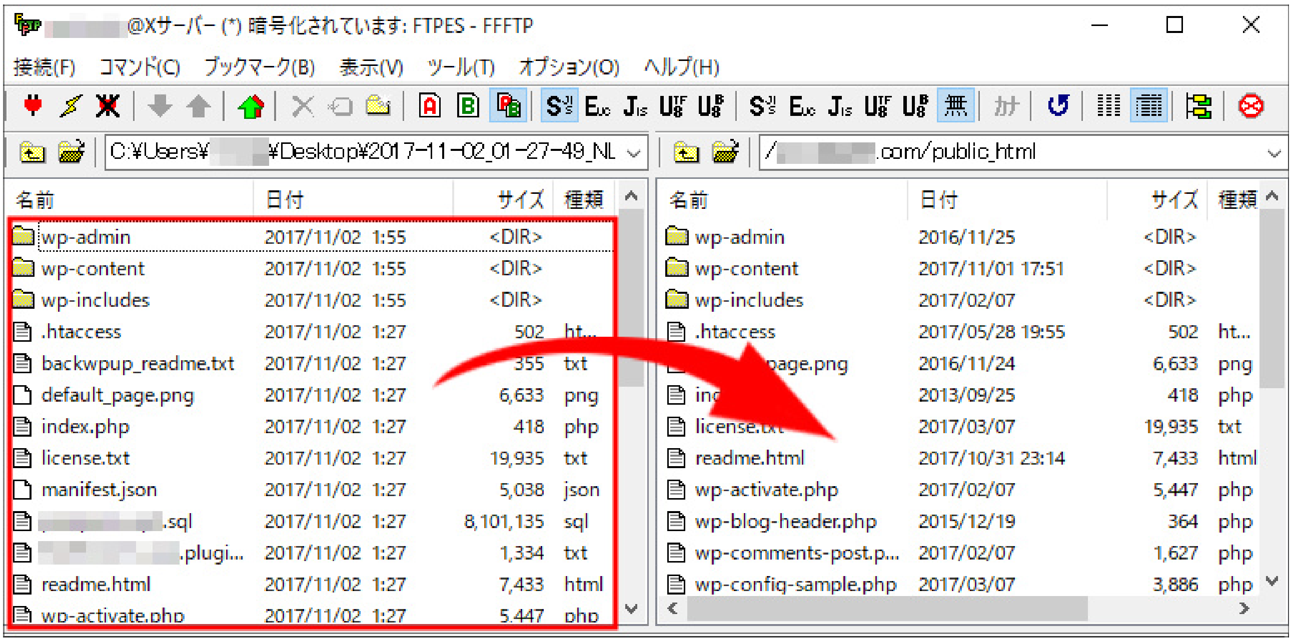
第２章：WordPress の復元作業

前章の手順通りにやれば、バックアップは取れているはずです。

サイトの SSL 化がうまくいけば、**この復元作業は不要となりますが、**
どのような手順で復元するのかを確認しておきましょう。

（１）サーバー上のファイルデータを復元する

バックアップしたファイルデータを「FFFTP」などの FTP ソフトを使って、
サーバーにある、復元させたいドメインの「public_html」にアップロードします。



基本的に全てのファイルをアップロードするのですが、
「backwpup」で始まるファイル、「manifest.json」などは不要です。

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

（２）データベースのデータを復元する

サーバー上のファイルデータは復元できたので、
あとは「phpMyAdmin」を使って、データベースの復元作業を行ないます。

「phpMyAdmin」は、レンタルサーバーでデータベースを管理し、
ワードプレスなどのサーバー専用の「SQL」を操作できるツールです。

では、X サーバーのサーバーパネルにログインして下さい。

X サーバーのサーバーパネル
https://www.xserver.ne.jp/login_server.php

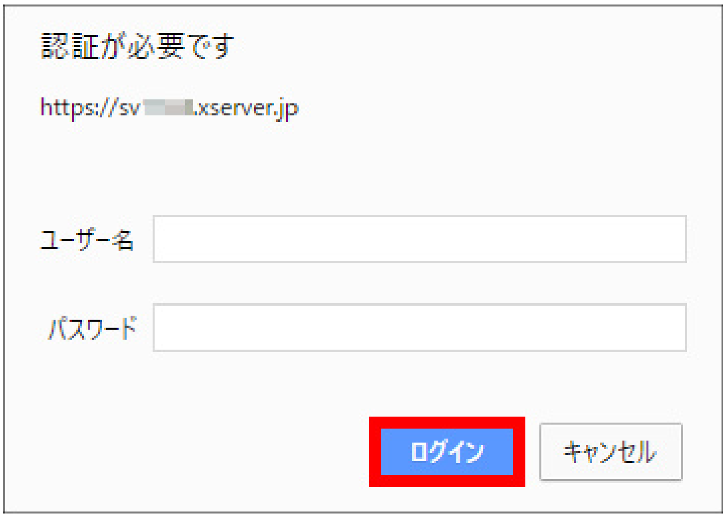
「ログイン」をクリック

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

「phpmyadmin(MySQL5.5)」をクリック

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

ユーザー名とパスワードを入力し、「ログイン」をクリック

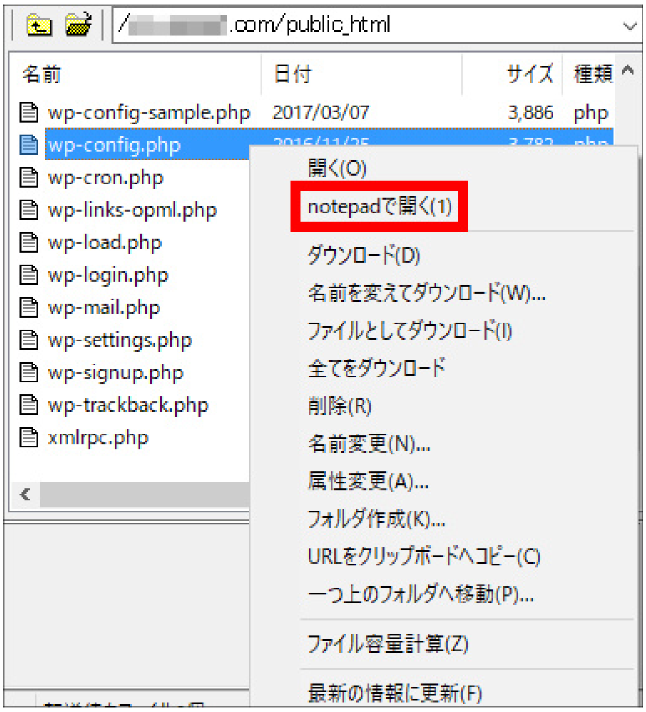


ユーザー名：MySQL データベースのユーザー名(DB_USER)

パスワード：MySQL データベースのパスワード(DB_PASSWORD)

上記のデータは、WordPress の「wp-config.php」に記載されているので、

「notepad で開く(1)」で、確認する事が可能です。

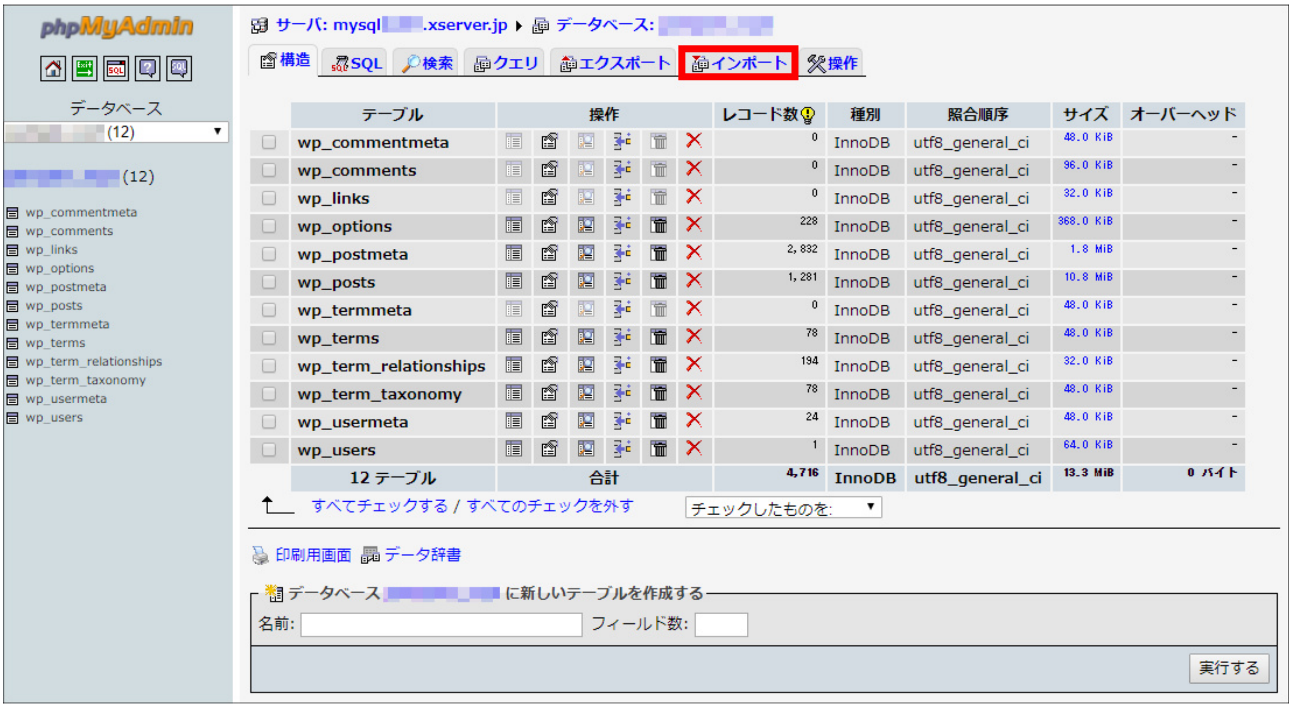


Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

「phpMyAdmin」に、ログインできましたら、

左側の「データベースのユーザー名」をクリックする。

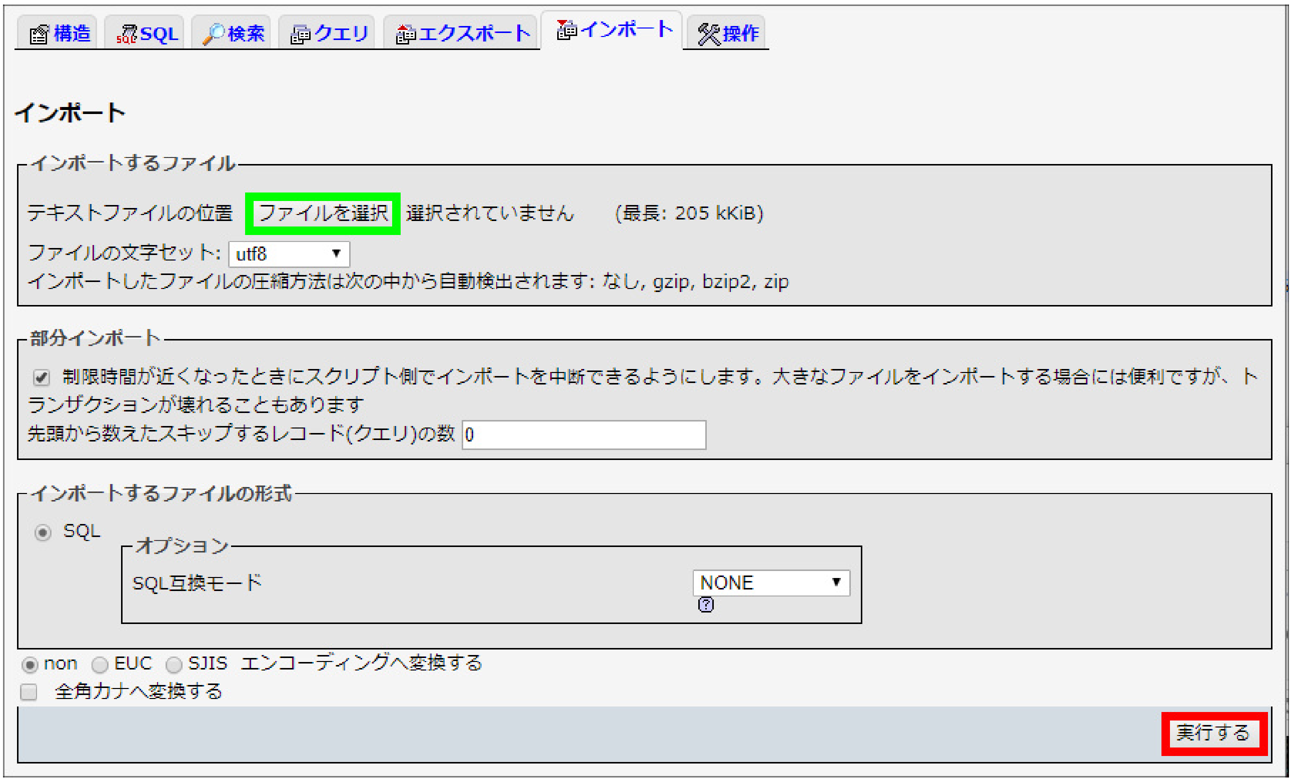
「インポート」をクリック



Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

「ファイルを選択」から、バックアップした SQL ファイルを選択し、

「実行する」をクリック



容量オーバーで、アップロードできない場合は、

zip 形式に圧縮してアップロードすれば、問題ありません。

（３）復元した WordPress の動作確認

ブログが正常に表示されないなど、トラブルがあった場合は、

まず、ブラウザのキャッシュを削除してみて下さい。

プラグインの不具合の場合は、面倒ですが、

プラグインの再インストールで改善する事もあります。

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

第３章：X サーバーの WordPress を SSL 化する

WordPress のバックアップが終われば、いよいよ
X サーバーにインストールしてある WordPress を SSL 化していきます。

SSL 化とは、インターネット上の情報を暗号化して送受信する取り決めの事です。

例えば、買い物でクレジットカードの番号を入力するのに、
暗号化がされてなかったら、情報が漏洩する可能性がある。

最近は、個人情報の保護が重要視されているので、
クレジットカード番号以外でも、セキュリティがしっかりしているかは、
そのサイトの信用に関わってくる。

もし、あなたの運営するブログで
読者から問い合わせをもらう形なら、必ず SSL 化はしておきましょう。

例えば、カウンセリングを受け付けているとして、
読者が申し込もうとすると、以下のような警告が表示される。

「この接続ではプライバシーが保護されません」

このような表示がされるとなると、サイト自体のイメージが悪くなる。

申し込む気満々だった読者も、考え直すと思います。

これを避ける為には、サイトの SSL 化が必須となります。

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

簡単に言うと、「http://」ではなく、
「https://」で始まるのが SSL 化されたサイトになる。

【SSL 化のメリット】
・検索順位が上がる
・サイトの表示速度が高速化される
・セキュリティの強化
・信頼性の向上

【SSL 化のデメリット】
・Google Adsence の広告収入が低下する※

※Google Adsence では SSL 非準拠の広告を排除するので、
オークションの競争率が低下して広告収益が低下する可能性がある。

運営途中から、サイトを SSL 化するのは、
とてつもなく面倒くさい(笑)

サイトの中に、1 個でも「http://」が入っていたら、
それだけで、安全ではないサイトと認識されてしまう。

SSL 化するデメリットはあまりないので、
今後も長くブログを運営していくなら、
最初から SSL(https)化するのが賢い選択です。

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

（１）Xサーバーの SSL 設定

まず、サーバーパネルに「ログイン」する。

https://www.xserver.ne.jp/login_server.php

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

「**SSL 設定**」をクリック

SSL 化するドメインで、「**選択する**」をクリック

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

「独自 SSL 設定の追加」をクリック

ドメインが正しいか確認し、「独自 SSL 設定を追加する(確定)」をクリック

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

「SSL 新規取得申請中です。しばらくお待ちください。」と表示されるので、
少し待ちます。

「独自 SSL 設定を追加しました。」と表示されるので、
「SSL 設定の一覧」をクリック

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

「SSL 用アドレス」をクリックしてみて下さい。

「この接続ではプライバシーが保護されません」と表示されるはずです。

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

1 時間ほど経過すれば、普通に「https://」でアクセスできるようになる。

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

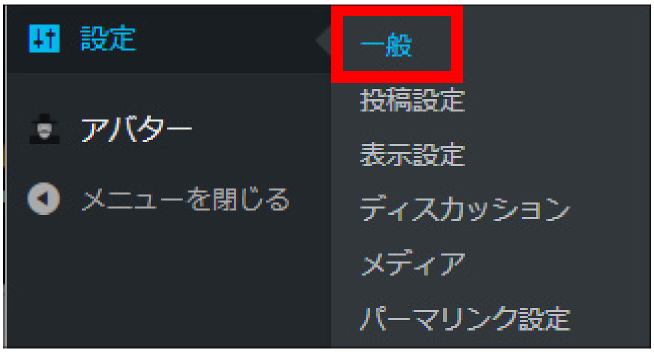
（２）WordPress の SSL 設定

例えば、「●●●.com」という独自ドメインの
WordPress ブログにログインする場合は、

https://●●●.com/wp-admin

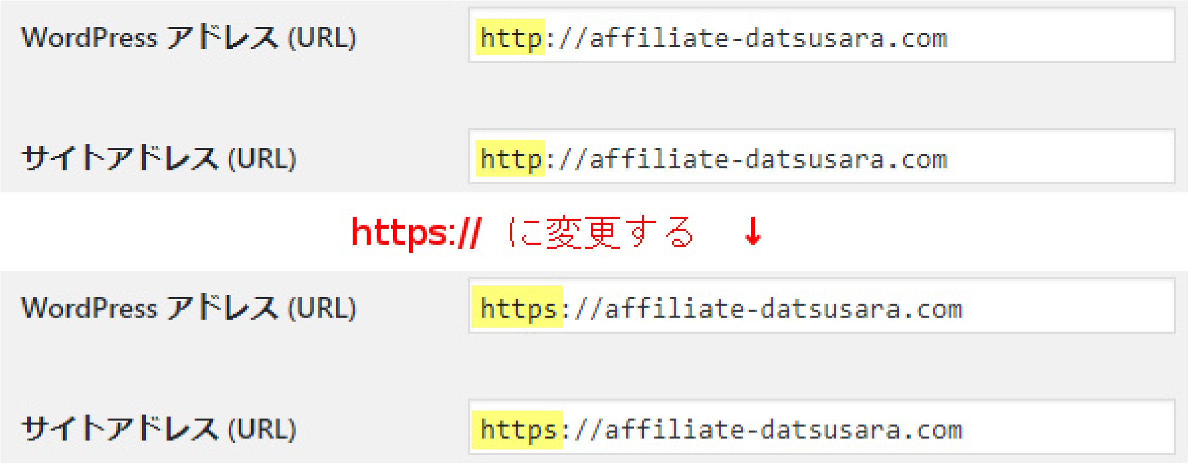
にアクセスして、ログインして下さい。

「設定」から「**一般**」をクリック



Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

下記 2 箇所の URL ですが、「http」を「https」に変更します。



「変更を保存」をクリック

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

（３）https への転送設定(.htaccess 編集)

今の段階では、暗号化されていない「http」にもアクセス出来てしまう。

ですので、アクセス出来ないように転送設定(リダイレクト)を行ないます。

「http」にアクセスしたら、「https」に全て転送されるようにする。

まず、X サーバーのサーバーパネルに「**ログイン**」する。
https://www.xserver.ne.jp/login_server.php

「設定対象ドメイン」を選択し、「**設定する**」をクリック

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

「.htaccess 編集」をクリック

「.htaccess 編集」をクリック

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

「.htaccess」は、重要なファイルなのでバックアップを取っておきます。

「.htaccess」の中身を全てコピーして下さい。

.htaccess編集

.htaccessの編集が行えます。

使用前のご注意 | .htaccess編集

■ 設定対象ドメイン[affiliate-datsusara.com]

編集対象	/home/[redacted]/affiliate-datsusara.com/public_html/.htaccess

.htaccess

```
suPHP_ConfigPath /home/[redacted]/affiliate-datsusara.com/xserver_php/
AddHandler fcgid-script .php .phps
FCGIWrapper "/home/[redacted]/affiliate-datsusara.com/xserver_php/php-cgi -c /home/[redacted]
/affiliate-datsusara.com/xserver_php/php.ini" .php
FCGIWrapper "/home/[redacted]/affiliate-datsusara.com/xserver_php/php-cgi -c /home/[redacted]
/affiliate-datsusara.com/xserver_php/php.ini" .phps
# BEGIN WordPress
<IfModule mod_rewrite.c>
RewriteEngine On
RewriteBase /
RewriteRule ^index¥.php$ - [L]
RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-f
RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-d
RewriteRule . /index.php [L]
</IfModule>

# END WordPress
# BEGIN WordPress
<IfModule mod_rewrite.c>
RewriteEngine On
RewriteBase /
RewriteRule ^index¥.php$ - [L]
RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-f
RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-d
RewriteRule . /index.php [L]
</IfModule>
# END WordPress
SetEnvIf Request_URI ".*" AllowXmlrpc
```

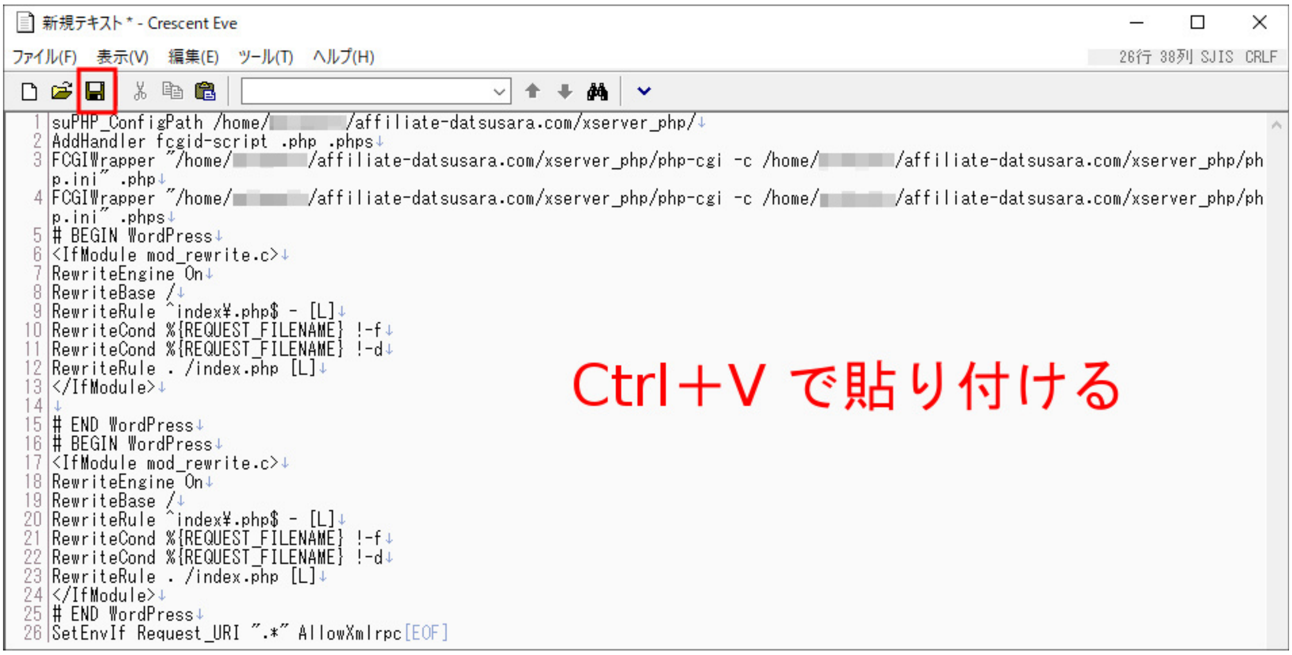
Ctrl＋A で全選択して、
Ctrl＋C でコピーする

.htaccessを編集する（確認）

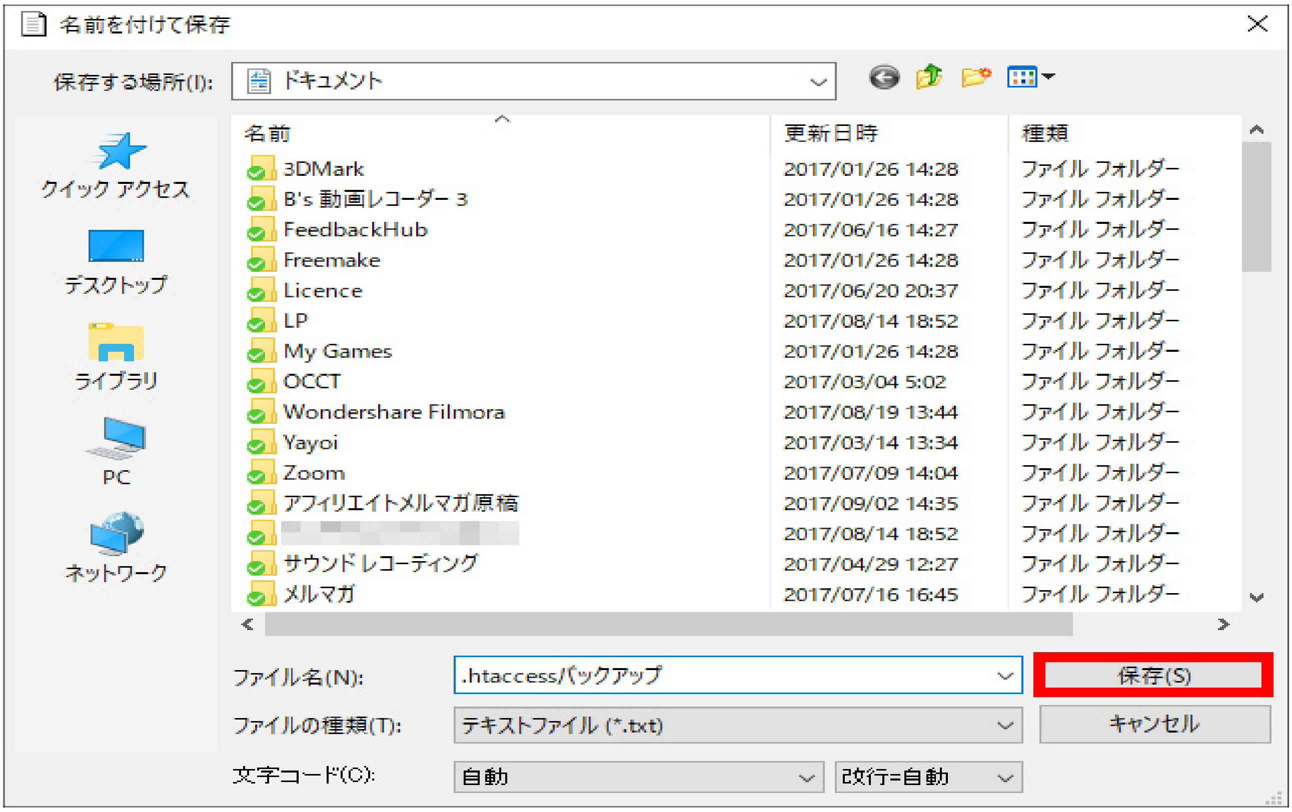
※/home/[redacted]/affiliate-datsusara.com/public_htmlフォルダ直下にある.htaccessファイルのパーミッションを読み取りのみに設定変更している場合、本設定が反映されません。
サーバーパネルからの設定が反映しない場合は、FTP上の.htaccessのパーミッションや設定をご確認ください。

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

テキストエディタ「Crescent Eve」あたりにでも、貼り付けします。



「.htaccess バックアップ」とでも名前を付けて、念のため保存します。



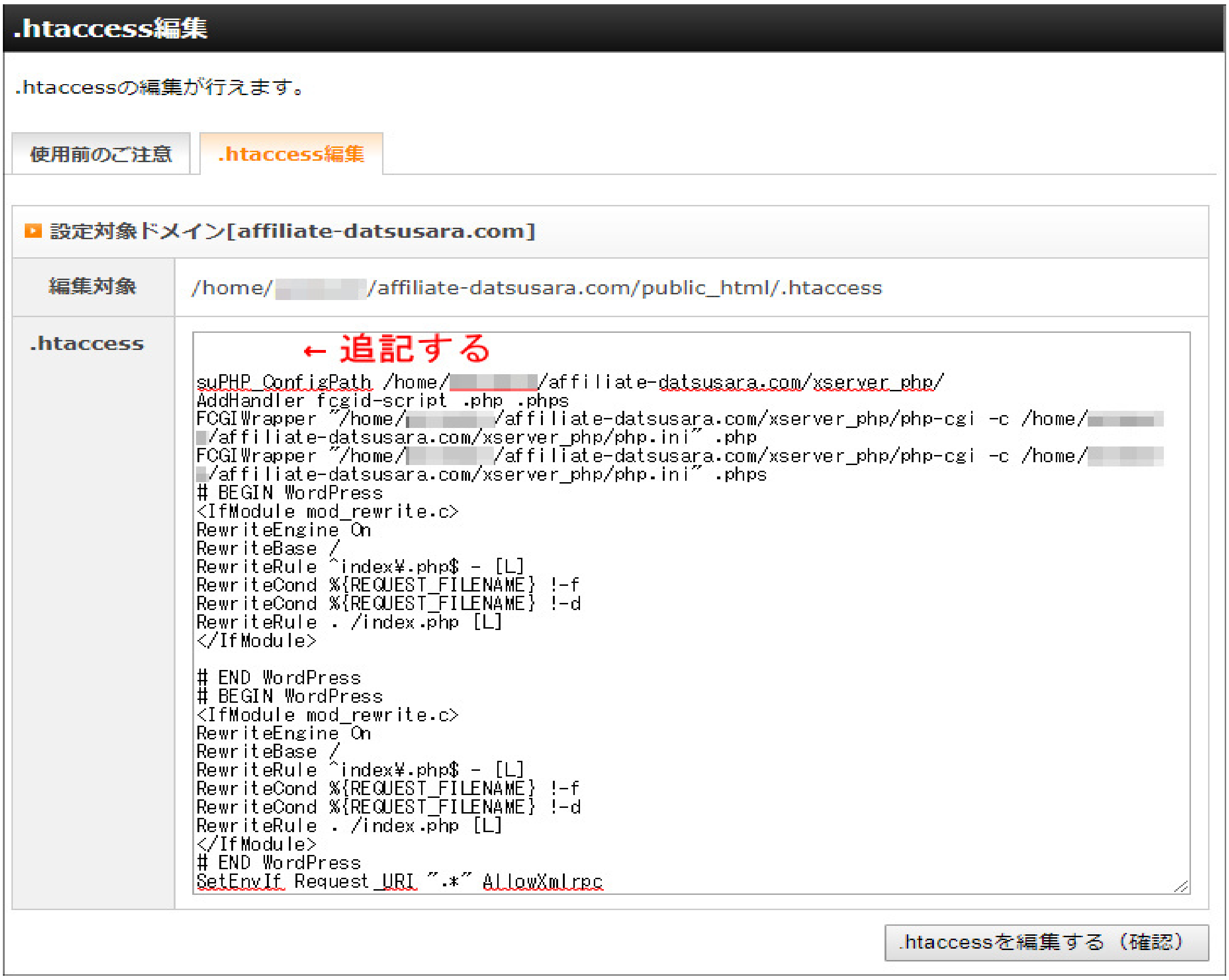
Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

では、「.htaccess」先頭に 1 行空けて、

下記の「転送用コード」を**追記します。**

```
<IfModule mod_rewrite.c>
RewriteEngine On
RewriteCond %{HTTPS} !on
RewriteRule ^(.*)$ https://%{HTTP_HOST}%{REQUEST_URI} [R=301,L]
</IfModule>
```

⇒こちらより転送用コードをコピペして下さい。



Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

コードを追記したら、「.htaccess を編集する(確認)」をクリック

.htaccess編集

.htaccessの編集が行えます。

使用前のご注意 | .htaccess編集

設定対象ドメイン[affiliate-datsusara.com]

編集対象	/home/[redacted]/affiliate-datsusara.com/public_html/.htaccess
.htaccess	(see below)

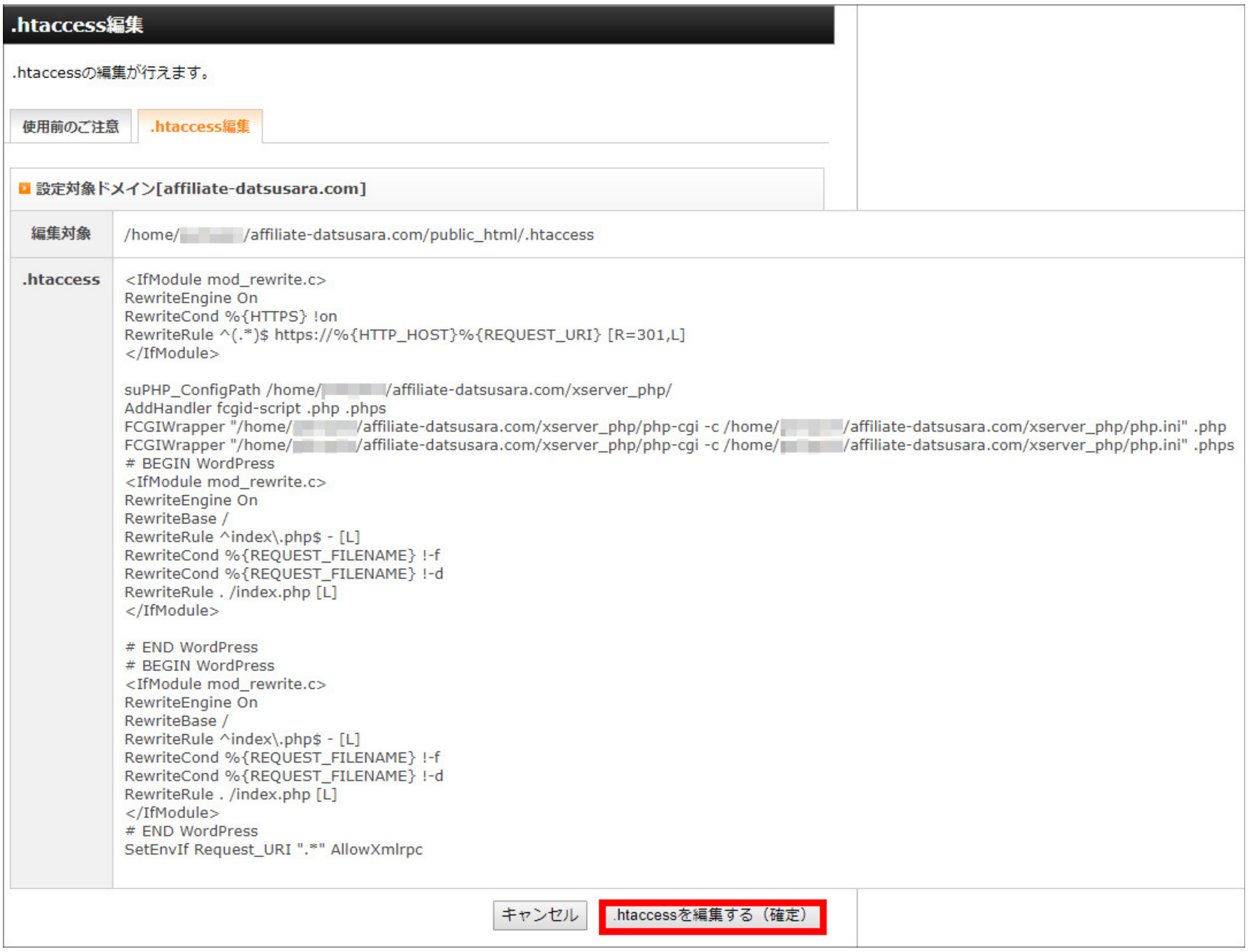
```
<IfModule mod_rewrite.c>
RewriteEngine On
RewriteCond %{HTTPS} !on
RewriteRule ^(.*)$ https://%{HTTP_HOST}%{REQUEST_URI} [R=301,L]
</IfModule>

suPHP_ConfigPath /home/[redacted]/affiliate-datsusara.com/xserver_php/
AddHandler fcgid-script .php .phps
FCGIWrapper "/home/[redacted]/affiliate-datsusara.com/xserver_php/php-cgi -c /home/[redacted]/affiliate-datsusara.com/xserver_php/php.ini" .php
FCGIWrapper "/home/[redacted]/affiliate-datsusara.com/xserver_php/php-cgi -c /home/[redacted]/affiliate-datsusara.com/xserver_php/php.ini" .phps
# BEGIN WordPress
<IfModule mod_rewrite.c>
RewriteEngine On
RewriteBase /
RewriteRule ^index¥.php$ - [L]
RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-f
RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-d
RewriteRule . /index.php [L]
</IfModule>

# END WordPress
# BEGIN WordPress
<IfModule mod_rewrite.c>
RewriteEngine On
RewriteBase /
RewriteRule ^index¥.php$ - [L]
RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-f
RewriteCond %{REQUEST_FILENAME} !-d
RewriteRule . /index.php [L]
</IfModule>
# END WordPress
SetEnvIf Request_URI ".*" AllowXmlrpc
```

.htaccessを編集する（確認）

※/home/[redacted]/affiliate-datsusara.com/public_htmlフォルダ直下にある.htaccessファイルのパーミッションを読み取りのみに設定変更している場合、本設定が反映されません。
サーバーパネルからの設定が反映しない場合は、FTP上の.htaccessのパーミッションや設定をご確認ください。

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

「.htaccess を編集する(確定)」をクリック



「.htaccess」の編集は終了しました。

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

試しに、「http://」にアクセスしてみましたが、

転送されて、「https://」にアクセスされました。

これで、SSL 化と転送設定が完了しました。

もし、すでに多くの記事が入っているサイトを SSL 化する場合は、

下記ブログにも詳しく書きましたので参考にして下さい。

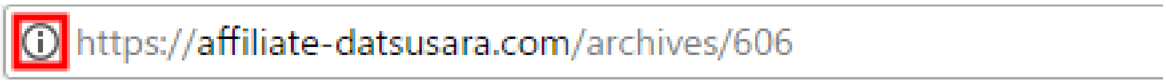
→既存の WordPress サイトを https に SSL 化した方法！初めての方は必見

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

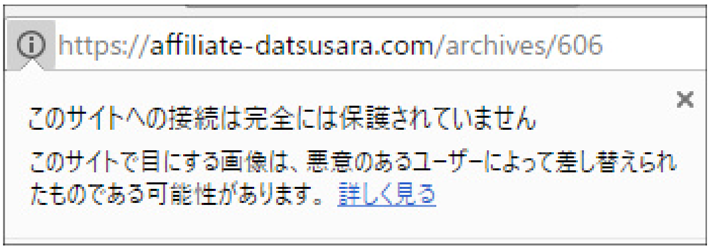
第４章：SSL 化できているか確認する方法

WordPress を、しばらく「http」でサイト運営をしていた場合、
間違いなく、これまでの手順だけでは完全な SSL 化はできません。

次のような表示になるはずです。
赤枠の「ビックリマーク」をクリックして下さい。

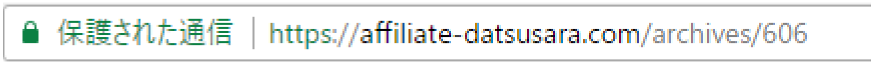


すると、「このサイトへの接続は完全には保護されていません」と出る。



つまり、完全な SSL 化ができてない事を意味します。

完全な SSL 化状態だと、次のように「鍵」がかかった状態が表示される。

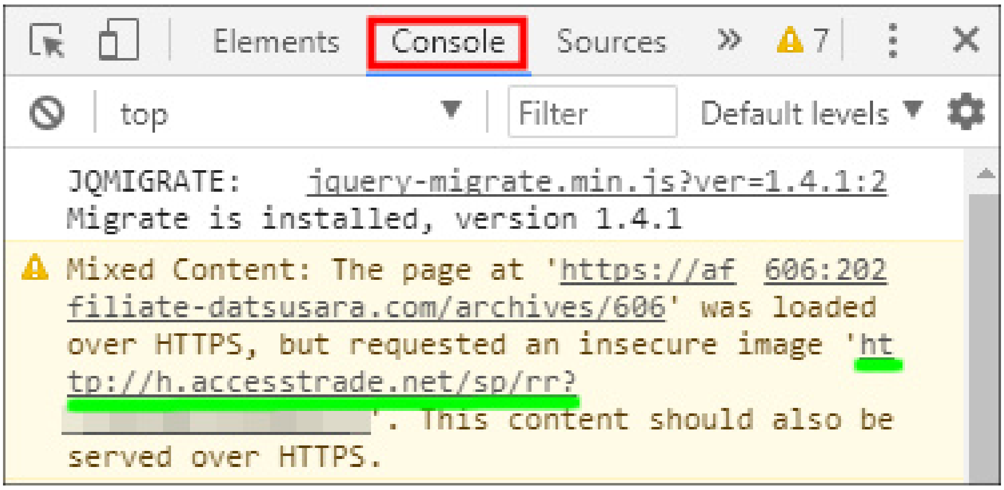


Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

SSL 化が完全ではない場合、GoogleChrome を使っているなら、
「F12」を押して下さい。

するとデベロッパーツールが開くので、「Console」タブに移動する。

その中に、「http」の記述が見つかるはずなので、
それを把握して、ひとつひとつ修正していきます。



これを全ての記事(URL)で行ない、画像リンクを含め手作業で修正しないといけない。

ですが、そんな事を何千回もやってられない(笑)

だから、「Search Regex」というプラグインを使います。

不完全でも、SSL 化をしてある状態なので、
この段階で、もう一度バックアップを取っておいた方が賢明です。

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

第５章：「Search Regex」の使い方

では、http を https に修正する為、
WordPress プラグイン「Search Regex」の使い方を解説します。

このプラグインを使えば、http を https に置換できるので、
作業がはかどります。

「新規追加」をクリック

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

右上キーワードに「Search Regex」と打ち込み、

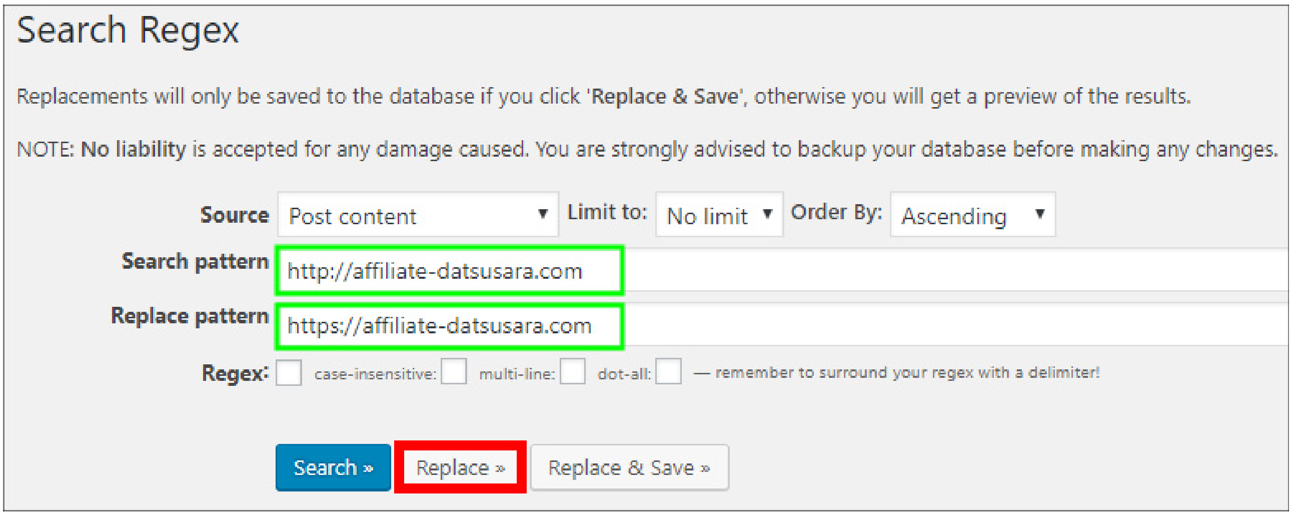
「今すぐインストール」をクリック

「有効化」をクリック

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

「ツール」から「Search Regex」をクリック

緑枠内のみに、入力していきます。
「Search pattern」には、SSL 化する前のアドレス(http)を入力して、
「Replace pattern」には、SSL 化した後のアドレス(https)を入力する。

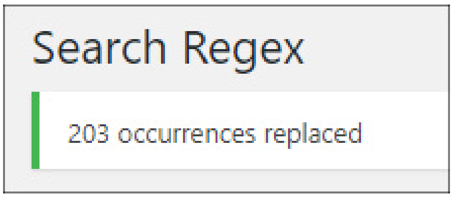


Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

「Replace」ボタンをクリックすると、

置換が行なわれる部分が赤で表示されます。

そして、「Replace＆Save」ボタンをクリックで実行される。



これで修正できなかった部分は、

記事ごとに保護されているか URL を確認して、

保護されてなければ、先ほどのデベロッパーツールを参考に修正する。

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

第６章：SSL 化に伴う、広告タグの貼り替え作業

上記の手順でも、おそらく完全な SSL 化はできません。

ほとんどの場合、広告タグが「http」のままになっているからです。

つまり、サイトの SSL 化に伴う、
広告タグの貼り替え作業を実行する必要がある。

この広告タグの貼り替え作業が曲者なのです。

だいぶ前から、運営しているサイトだと、
SSL に対応してない広告タグが貼られています。

つまり、全部の広告を貼りかえる事になる(笑)

楽天アフィリエイト・amazon アソシエイト・物販系 ASP など、
ほぼ全滅ですよ。

amazon に至っては、「http」の広告タグだと、
SSL 化したサイトでは、空白になって何も表示されない。

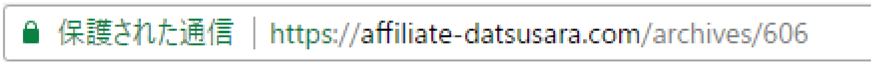
SSL 化した「https」のサイトだと、
従来の「http」広告タグは、画像やテキストすら表示されないのです。

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

だから、広告を張り替えないとサイトの見た目がおかしい(笑)

1 記事ずつ、「https」の広告タグを取得して貼り直し、
目視で確認するという作業をひたすら繰り返す事になる。

広告タグの貼り替えをして、SSL 化がうまくいくと「**鍵マーク**」が表示される。



（１）１つずつ手作業での広告貼り替え作業になる

WordPress プラグイン「Search Regex」を使って、
「http」を「https」に置換しただけで済むと思ったら大間違い。

その方法だと、うまくクッキーが働かなかったりする可能性がある。

なぜなら、ASP によっては SSL 対応の広告タグが、
単純に「http→https」になるわけではないからです。

「**A8.net**」などは、SSL 対応の広告タグが別物に変わるので、
「http」を「https」に置換する方法は使えない。

このあたりに注意しないと、せっかく広告をクリックされて、
商品が成約しても、**自分の成果にならないという悲劇が起こります。**

「Search Regex」を使って、広告タグを「http→https」に置換するのは
テキストリンクや画像リンクだけにして、広告タグの置換は避けるのが無難。

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

第７章：Search Console で、サイトの削除と追加

あとは、サイトをサーチコンソールに登録しているなら、
既存の「http」サイトの**登録削除**を行ないます。

そして、新たに「https」サイトの追加登録を行なう。

サーチコンソールには、登録サイトを変更する機能がありません。

ですから、既存サイトの登録削除を行ない、
新たに、新サイトの追加登録を行なう必要があります。

手順としては、「http」サイトを
「プロパティの管理」から、**「プロパティを削除」**を行なう。

その後に、**「プロパティを追加」**から、
「https」サイトの追加登録を行なう。

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

第８章：Google Analytics の設定変更

アナリティクスでは、変更が可能です。

「管理」→**「プロパティ設定」**をクリックし、
デフォルト URL を「https://」を選択する。

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

Search Console と連携している場合は、

「Search Console を調整」をクリックして、サイトを選択します。

連携しているサイトの削除と追加を行なって下さい。

そして、「保存」をクリックする。

以上

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

終わりに

今回のレポートでは、
「WordPress のバックアップと SSL 化」について
徹底的に詳しく解説をしました。

特に、すでに WordPress を運営していて、
SSL 化に踏み切れない方には、参考になると思います。

最初から SSL 化してしまえば、何も面倒くさくありませんが、
途中から SSL 化しようとすると、途端に難易度が上がります。

どこの会社と契約しているかで、またやり方も変わってくるのですが、
X サーバーとムームードメインの組み合わせが一番良いと思います。

X サーバーからでも、独自ドメインは取得できますが、
料金が高くなるので推奨できません。

ですので、なるべく「ムームードメイン」などで
独自ドメインは契約するようにしましょう。

⇒ムームードメインの申し込みはこちら

⇒X サーバーの申し込みはこちら

最後までお読み頂き、ありがとうございました。
また、お会いする機会がありましたら嬉しいです♪

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

オウンドメディアについて

私の専門である「オウンドメディア」について話したいと思います。

ブログでライバルたちを出し抜くには、
記事内容でも「独自性」を追求する必要がある。

そうすれば、さらにアクセスが安定してきます。

独自性を追求するのに、有効なのが「オウンドメディア」です。

「オウンドメディア」とは、独自のメディアを意味する言葉で、
一般的には、ブログの事です。

このオウンドメディアは、単なるブログではありません。

ブログを使うのですが、内容は運営者の個性が反映され、
「独自性」のある記事内容になります。

このオウンドメディアが凄いのは、
無料で毎月、何十万人という集客が出来てしまうところです。

オウンドメディアに参入してないと、
集客に毎月、何十万円という金額が掛かってしまう。

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

集客が上手くできれば、あとはどうとでもなります。

メルマガに登録させても良いし、
ブログで商品を売る事も可能になる。

つまり、オウンドメディアに参入すれば、
集客に困る事はなくなり、報酬も安定します。

このオウンドメディアのトップクラスになれば、
毎月 100 万アクセス以上を集め、月収 500 万円を稼ぐ事も可能です。

有名な方と言えば、イケダハヤトさんとかですね。

たったひとつのブログだけで、毎月安定収入が入ってくるので、
オウンドメディアの注目度は上昇中です。

これだけ聞いたら、あなたはオウンドメディアに
興味を持ったのではありませんか？

でも、オウンドメディアで稼ぐのは簡単ではありません。

難易度が高い事は、間違いないです。

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

これは、オウンドメディアに限らず言える事ですが、
成果が出る人と成果が出ない人の違いをご存じですか？

成果が出る人は、例外なく作業の継続が出来ています。

成果が出ない人は、作業の継続すら出来てません。

やはり、**「作業の継続」**が出来ない人は成果が出ない。

当たり前の事を言ってるように聞こえますが、
本当に、「作業の継続」が出来る人がほとんどいないのです。

しかし、安心して下さい。

私がその原因を特定し、解決策もわかりました。

「独自性」のあるオウンドメディアを使って、
「作業の継続」ができるようになる方法があるのです。

この方法を知りたいですか？

どうしても知りたい方は、私のメルマガに登録して下さい。

メルマガ読者限定で、その方法を教えます。
⇒オウンドメディアで戦略的アフィリエイト

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved

作者：マクシミリアン

メールアドレス：anti@affiliate-datsusara.com

メールマガジン：http://affiliate-datsusara.com/web/merumaga-a.html

ブログ：「オウンドメディアで戦略的アフィリエイト」　https://affiliate-datsusara.com

Copyright (C) 2019 Maximilian. All Rights Reserved